コンクリートディレクター（CD）　ダイジェスト版（案）

1. CD とは（認識の違いがあったら教えてください）

CD（コンクリートディレクター）とは、生コンクリート工場で働く事務職の方、新任の方に【技術的な知識】と【業務理解】を付加し、より幅広い業務に対応できる人材として活躍いただくための教育･育成プログラムです。「技術者ではないけれど、現場を理解して支えたい」「もっと工場の業務に貢献したい」という意欲をもった方々に向けて、品質管理や記録整理など、**バックオフィスから工場運営を支える役割**を担ってもらうことを目的としています。

2. CD という職域創出のきっかけ

これまで、生コン工場では「試験係」がすべての技術業務（品質管理・試験成績作成・検査設備管理等）を一手に引き受けてきました。しかし、その**業務範囲の広さは試験員の負担**となっていました。
一方、事務職の方々が日々行っている業務の中には、**一定の知識を得ることで技術職の一部を担うことができる領域**が多く存在します。
そうした現実を踏まえ、

- 「試験係の負担を減らす」
- 「事務職のキャリアを広げる」
- 「職場の業務効率を高める」

　という複合的な目的から、「事務 × 技術」の**中間領域に新たな職域**を創出しようという発想で **CD 制度**は誕生しました。

3. CD 導入の効果

CD 制度の導入によって、工場全体に多くのプラスの影響が生まれます。

● 試験係の業務負担軽減

配合計画書の作成、代行試験のスケジュール管理、検査設備や外注管理など、**試験係でなくともできる業務を CD が分担**することで、業務全体の効率化を図れます。

（イメージです）

● 業務の可視化と標準化

CD を育成する過程で、これまで“属人的”だった品質管理の手順が**マニュアル化・整理され、共有知として蓄積**されていきます。

● スキル底上げとキャリアパス創出

CD は、生コン工場における新たなキャリアの道筋です。これまで「事務」「試験係」「運転手」など職種ごとに固定的だった工場内の人材構成において、CD は事務職の“キャリアの横展開”を可能にします。女性職員が多く従事する事務部門において、専門知識を持って**長く安定して活躍できる環境**をつくると同時に、**リーダー候補となる人材育成**にも貢献します。

では、どんな学習をすればこのような効果を生み出す CD が生まれるのでしょうか。
CD 制度は、単なる資格取得ではなく、**生コン工場の実務に直結する教育**を重視した実践型プログラムです。
プログラムの一部をご紹介します。

4. 教育支援プログラム

CD 制度は、単なる資格制度ではなく、**「現場で本当に使える教育」に徹底的にこだわった実践型プログラム**です。

● **教育プログラム**　（基礎編、応用編の内容については詰める必要あり）

- **基礎編**「生コンとは何か」から始まり、JIS や社内規格、帳票類の整合や記録整理の重要性など、**工場の運営を支えるための基本的知識**を身につけます。
- **応用編**　より専門的な視点と判断力を身につけ、現場の改善や指導も担える**プロフェッショナル人材**を目指します。

CD 制度を通じて、20 代後半〜30 代の段階で、男女問わず"コンクリートの専門人材"を育てることが可能です。

（サンプルで＃1 の動画を視聴可能にする）

● **質問対応とナレッジ蓄積**

受講中・受講後問わず、チャット形式で質問が可能です。疑問には日本を代表するコンクリート専門家が直接回答し、その内容は全受講者に共有され、**業界全体の知識資産**として蓄積されていきます。

（CD のシステムを構築？Discord をつかう？）

● **JOIS 技術交流会との連携**

CD 制度の受講者・修了者は、"JOIS 技術交流会"に参加可能です。他工場との情報交換や失敗成功事例の共有、専門家からの最新技術情報の学びを通して、**継続的に成長できる環境**が整備されています。

5. CD 取得後のイメージ

CD 取得後の自分を想像してみてください。
これまでのあなたは、「なぜこの作業をするのか」「どんな意味があるのか」を知らずに業務をこなしていたかもしれません。
しかし、CD のスキルを身につければ、**社内規格や関連帳票の根拠を理解した上で仕事ができるようになります。**
さらに、後輩に知識を共有したり、現場の改善提案ができるようになることで、職場での信頼が高まり、「**頼れる存在**」として、自らの立場に誇りを持って働くことができるでしょう。そして「**欠かせない人材**」としての自覚と役割が芽生えます。
また、管理者側にとっても、CD が自主的に学び理解しながら業務にあたってくれることで、全てを 1 から教える必要がなくなり、**人材育成・業務管理の効率化にも大きく貢献**します。また、自ら学び、根本を理解して業務を遂行してくれることで、CD は非常に心強い存在となるのです。